

【 中野区 】 胃がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	隔年
検査方法（胃部X線検査）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	80,177	87,025	167,202
【東京都調査による対象者率(区部): 60.5%】			
実際の受診者数	1,344	2,131	3,475

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査

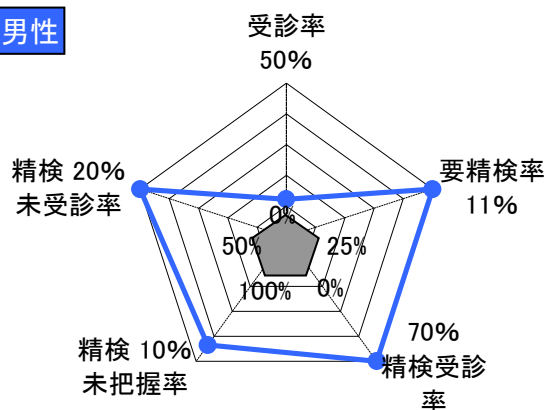
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

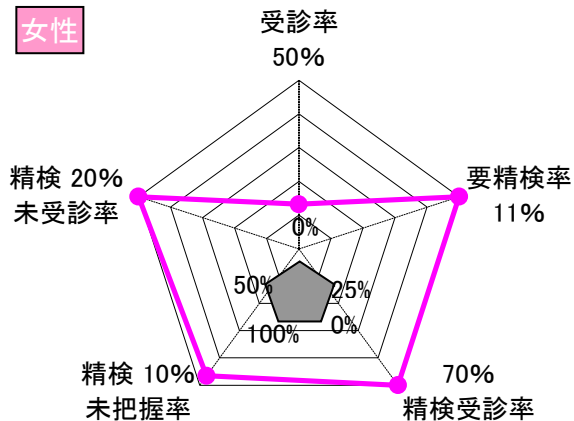
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	2.8%	4.0%	3.4%
要精検率	11%以下	9.7%	7.1%	8.1%
精検受診率	70%以上	75.4%	82.2%	79.1%
精検未把握率	10%以下	24.6%	17.8%	20.9%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	2.3%	0.7%	1.4%
がん発見率	0.11%以上	0.22%	0.05%	0.12%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 中野区 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査(二日法)）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	80,177	87,025	167,202
【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】			
実際の受診者数	11,574	20,526	32,100

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

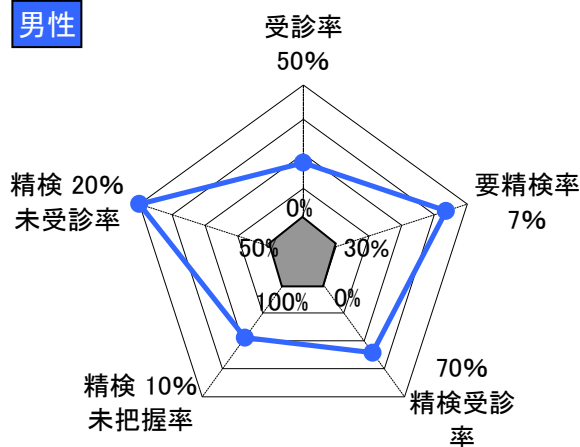
<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

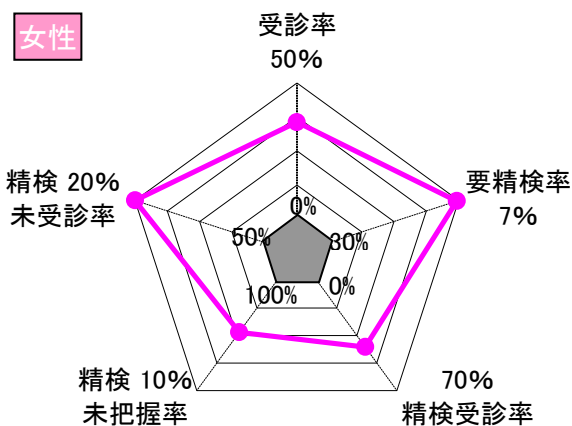
<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	21.8%	35.6%	29.0%
要精検率	7%以下	10.7%	7.3%	8.5%
精検受診率	70%以上	42.4%	42.3%	42.4%
精検未把握率	10%以下	57.6%	57.7%	57.6%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	2.5%	2.3%	2.4%
がん発見率	0.13%以上	0.27%	0.17%	0.21%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 中野区 】 子宮頸がん検診 平成26年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	している
検査方法（細胞診）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		138,661	
【東京都調査による対象者率(区部)：63.7%】			
実際の受診者数		8,894	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.4%	
要精検率	1.4%以下		3.9%	
精検受診率	70%以上		55.7%	
精検未把握率	10%以下		44.3%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		0.3%	
がん発見率	0.05%以上		0.01%	

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

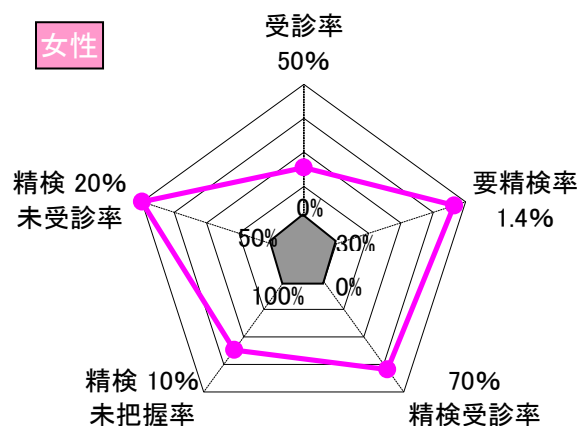
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



【 中野区 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		87,025	
【東京都調査による対象者率（区部）：72.3%】			
実際の受診者数		6,576	

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.0%	
要精検率	11%以下		10.2%	
精検受診率	80%以上		77.3%	
精検未把握率	10%以下		22.7%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.8%	
がん発見率	0.23%以上		0.49%	

【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

